

ロング&オレソン編 Franklin A. Long & Alexandra Oleson

『Appropriate Technology and Social Values —A Critical Appraisal—』1980 刊

米国の著名な学術団体であるアメリカ芸術科学アカデミーが、1978年に主催した国際シンポジウムでの発表を1冊に編集したのが本書である。編者は両名とも同アカデミーに所属し、そのうち副会長を務めていたロングはコーネル大学の物理化学者で、科学と公共政策に関心を寄せていた。本書は、国や集団による技術選択に社会的価値がどのように関わっているかを主テーマとし、第1部は政治学や行政学などの研究者による適正技術の概念に関係する4つの論考、第2部は韓国とガーナの行政官および経済分野の研究者らによる開発政策での適正技術の実践を通じた6つの論考からなる。

1970年代後半、経済的な観点から効率や所得配分などと合わせて適正技術が議論されることが多かった中で、技術を選択する上で社会における様々な価値が実質的な役割を果たしているという本書の問題提起は、適正技術を取り巻く論議に一石を投じたといえる。その中心といえるのは第1部であろう。議論全体の総括や共通した見解をまとめていないため、個々の論者の主張は多様なままであるが、副題の通り適正技術を批判的に評価するという点では、それぞれの洞察にもとづく主張が新しい見方を提供している。

まず第1部では、適正技術が持つあいまいさや不確かさを、各論者がそれぞれのアプローチで切り込み、社会的価値との関係を紡ぎ出している。中でもフォレストとブルックは、共通して既存の近代技術とそれに代わる適正技術という二極化された論議に警鐘を鳴らす。その上でフォレストは「適正技術は、技術が内包する複雑さを理解し、社会的価値を技術選択のプロセスに統合するための重要なポテンシャルと柔軟性を備えている」とし、「人類が直面する課題について国際的なコンセンサスを得る」ことにその特徴が活かされるとする。一方、ブルックは「適正技術はオールターナティブというよりも西洋技術と共存し、補い合うものとして捉える」ことを提示している。また、モンゴメリーは「適正技術を導入することでゆっくりとした変化による近代化」では不十分であり、正と負の両面を持つ諸価値に対して科学者は中立たりえないと主張し、市民の責任を超えた科学者の特別な責任を啓発、助言、政策決定、批評、実践的活動などのいずれかで果たす必要があると説く。

さらに第2部は、主に途上国での技術選択の問題について論じている。韓国では、政府による制度インフラの導入と調整努力により、適正な技術を誘導した工業化と地方セクターの成長の両方がうまくいったとされる。中国については、政府の地方の小規模産業重視により、都市と地方の分極化による悪影響が抑えられたとされ、雇用の確保、女性の状況改善、都市と農村の格差縮小という社会的価値を明確にすることは、技術の適正さに影響を与えるとの主張がなされた。他方、ガーナでは、政策と実施団体との不適切な関係、研究開発機関が実施する非効率な普及活動などにより、技術適用が遅れているという。また、先進国は幅広い選択肢を持つが、途上国から見てその幅は明確ではなく、適正技術を選択するための情報を求める途上国サイドからのイニシアティブが不可欠であるとの提起がな

されている。

(笹本浩子／神野芳紀)

[書誌データ]

Long, Franklin A. & Oleson, Alexandra (ed.), *Appropriate Technology and Social Values: A Critical Appraisal*, Ballinger Publishing Company, 1980

[目次]

Preface

Introduction (by Franklin A. Long)

Part I - Appropriate Technology as Concept

Chapter One: Technology Choice in the Context of Social Values - A Problem Definition  
(by Paul H. De Forest)

Chapter Two: Building the Better Mousetrap - Appropriate Technology as a Social  
Movement (by Langdon Winner)

Chapter Three: A Critique of the Concept of Appropriate Technology (by Harvey  
Brooks)

Chapter Four: Beyond Appropriate Technology (by John D. Montgomery)

Part II - Appropriate Technology in Practice

Chapter Five: Appropriate Technology and the Development Process (by Gustav Ranis)

Chapter Six: The Role of High Technology in the Industrialization of Korea (by  
Hyung-Sup Choi)

Chapter Seven: The National Development of Ghana (by Robert Dodoo, Jr.)

Chapter Eight: The Development Problem, Strategy, and Technology Choice - Sarvodaya  
and Socialist Approaches in India (by V.V. Bhatt)

Chapter Nine: China's Experience with Rural Small-Scale Industry (by Dwight H.  
Perkins)

Chapter Ten: On Being Rich and Being Poor - Technology and Productivity (by Kenneth  
E. Boulding)

About the Editors

About the Contributors

Index